

61 とにかく、思いのある人がいる限り、私の「教育協働への道」は続く！

堂本 彰夫

(1) 「玉城青少年の家」の「相談役」に！新たに期する「教育協働」への思い！

随分時が過ぎたが、ここから新たに、「教育協働への道」を歩んで（開拓して？）いくことにしたい！まだまだ世間は、件の新型コロナウイルス災禍に苛まれ続けているが（本当に、予想だにできなかった状況である！）、そしてまた、それに関わって何も出来ない自分が、本当にもどかしい（情けない？）のであるが、いつかは収束（終息？）するであろうから（こんな言い方は、ある意味申し訳ないが？）、その日を期して、再び思いを綴ろうということである（とにかく、今はそれしかない！）！ちなみに、沖縄は、この一月余、新たな感染者は出ておらず、元の状態に、少なくとも表面的には戻ろうとしている（完全な回復には、かなりの時間を要するであろうが？）！

ということで、現在いくつか書きたいことがあるが（考える時間はたっぷりあった？）、まずは、標記のことであろうか！実は、ここでも何回か触れたかとは思いますが、ひょんなことから、件の「県立玉城青少年の家」とのつき合いが新たに始まり（そのスタッフと「社会教育主事講習」の沖縄会場で出会ったことがきっかけとなり、その後、所長のYさんや責任者のMさんの来訪もあった！）、冗談半分に言っていた「相談役」就任？が実現しているのである！「相談役」といっても、常時相談を受けるわけではなく、何か、相談が必要だと所（スタッフ）が思った時に、いつでも、自由に相談を受けるという関係であるが（私は、そのように思っているが？）、一度、全体の顔合わせの意味で、懐かしい同所を訪ねてもみている（歓迎会？宿泊までしてしまった！）！

残念ながら、この間のコロナ禍により、その後一度も訪ねることが出来ないでいるが、幸い？ズームやスカイプでのオンライン交流が出来ており（同所が、その環境を整えてくれた！対応が早かった！）、最低限の情報入手やスタッフの働きぶりの把握は出来ている？！ただし、如何せん、この間の事業自粛？が重くのしかかっており、青少年教育施設としての機能は、ほとんどストップしているらしい？！改めて、今後どのような動きが見えるのか？期待と不安？が重なるが、大いに（それなりに？）頑張っただけの思いである！とにかく、私にとっては、新たな、そして正真正銘最後の？社会的活動（貢献？）ということになるだろうが、そこに是非、具体的な（私の期待する？）「教育協働の形」が実現していくことを望むわけであるし、彼らの思いやポテンシャルには、そのことをかなり予期させるものがあるように思えるのである？！

ただし、そうは言っても、彼らには彼らなりの思い（動機・目的）やヴィジョンがあるのであり、無理矢理私の思いや期待を押し付けたくはないので（もちろんそれは、結果的にはということであるが、これまでも、そうしたことは多々経験した？）、あくまでも求めに応じてというスタンスは崩さないようにということではある！だから、「相談役」なのである！したがって、その報酬もないのである！要は、相変わらず青臭いことを言うようであるが、「思いと思いのコラボレーション」が、その唯一の紐帯だということである！

(2) 一般社団法人の強み？とにかく、まずは指定管理者としての実績と信頼づくりを！

ところで、彼らは、実際上は、その「青少年の家」の事業を受託している「一般社団法人」（いわゆる「指定管理者」として。当初は、NPO法人と思っていた！）、法人名「じんぶん考房」のスタッフということであるが、まずは受託した事業（管理運営）を誠心誠意行い、その実績と信頼づくりに努める必要があることは言うまでもない！はやりの？「NPO法人」にはしなかったということであるが、その理由は、単に認可手続きの簡便さにあったようではある？！私には、恥ずかしながら、「一般社団法人」と「NPO法人」の実質的な違いは分からないが、「社会貢献」を主たる目的としているということであれば、ある意味それはどちらでも構わない？！

なお、その「じんぶん考房」という名称であるが、「じんぶん」とは、沖縄の言葉（方言？）で、多分？「生きる知恵」というようなことであると思うが（正確な語源は分からない？）、限られた条件・資源、厳しい？自然・生活環境の中で、それらを克服？すべく、自分の力、自分の考えで、問題解決、行動していく力（知恵）ということであろう？！それを、まさに考えて、創り出していくという意味の「考房」としている！何という、深くて、しかし、遊び心もある命名であろうか！彼らの、そうした思いと努力（労苦？）を、可能な限り見守ることが出来れば、ここ沖縄にいる（残っている？）私にとっても、大きな喜びとなるだろう？！

ということで、こうした「一般社団法人」（「NPO法人」でも一緒だが？）の存在意義は、改めてどういうところにあるのであろうか？言い換えれば、「行政」や、純粋な？「民間企業」と比べて、どのような価値やメリットがあるのか？ということである！スタッフの収入とか、身分的な保障とか、そういったことは、もちろんここでは触れないが（触れても仕方がない？）、私なりに総括すると、スタッフの自由な発想と活動の展開が出来るということであり（起業家的可能性）、それらは、結果的に（否、意図的に？）、公的機関、すなわち「行政」の限界（隘路・弱点）や、純粋な？「民間企業」の危険性？の克服につながるということであろう？！

すなわち、「行政」においては、法制度（予算等）の縛り、タテワリ、慣例主義、人事異動のマイナス面、職員のやる気？、「民間企業」においては、利益（儲け）至上主義（これは、ある意味重要な要素ではあるが？）、それ

に伴う、事業の継続性への不安、等々、数え上げればきりが無いが、こうした「非営利法人」には、それらの限界（隘路・弱点）やマイナス面を払拭する力があるということである（あくまでも、やりようによってはということであるが!）?!

否、もっとそれ以上の次元として、それらを行おうとする人達の思いとか志（使命感?）が、ある意味現代社会が無くしてしまった「社会のつながり（コミュニティ性）」とか、「相互扶助性」（沖縄では、「ユイマール」とか呼ばれる!）が、あくまでも辛うじてではあるが（でも、それは、現実的には物凄く意味がある!）、そこに実現、共有されるということが大きいのである（ただし、スタッフの生活保障は、絶対に必要ではある!）?!

忘れていたが?、実は、その青少年の家は、かなりの老朽化が進んでおり、ある意味やっ?建て替えの計画を迎えているということである!その建て替え工事自体は、県行政（施設部?）の仕事であるので、何とも言えないのであるが、同法人への受託期間に、その工事が完了することになっているということである!新しい施設、新しい事務所で、自らの思い。自らの形を実現すべく、それぞれのスタッフにおいては、それこそ夢が膨らむことであろうが（くれぐれも、コロナ禍の影響で、工期が遅れないことを望むが!）、私自身も、秘かな楽しみと出来ればと思う次第である!

(3) やれること、やらなければいけないことは無限?にある?!ただ、誰（どこ）がやるかだ!

しかるに、話は少し飛ぶ（戻る?）が、今回のコロナ禍においては、同法人のスタッフのような、名も無き、と言うより下心の無い?人々の思いや志が、もちろん偶にはあるが?、爽やかな情報として届けられることも多い!そういう人達の言動には、ある意味ぎりぎりのところでの心情の吐露ではあるが、上述のような情景を彷彿とさせるものがある?!

私個人としては、本当に頭の下がる思いであり（申し訳ないとも思う!）、そういう人達の活動が、決してマスコミ等の報道に踊らされずに（マスコミは、本当は恐ろしい?）、地に足を着けて、しかも可能な限り続いていて欲しいと願うのみなのである!ある意味、今のところ?、誰でもいい!どこでもいい!思いのある人がやればいい!そんなことを思うのでもあるが、そうした証拠（成果）は、そこかしこにある!そう!やれること、やらなければいけないことは無限?にある?!誰（どこ）が、やるかなのである!いいことはやろう!

問題は、やれるのに、やらない、やりたいのに、やれない!そういうことであるが、そこには何があるのか?いろいろな原因、背景があるのであろうが、今回の件だけではなく、まさに「教育協働」という視点においても、やはり必要なネットワークが出来ていない!あるのに上手く活用されていない!そういうことであるようにも思われる?!

実は、その最大のネック（課題）は、そのためのコーディネーターがいない、十分ではない!そういうことのようにも思える?!もちろん、今回のような、まさに想像を絶するような事態においては、そうしたコーディネーターが予期（配置）されていない、そういうことであろうが、その原因（背景?）は、ほとんどが結果的にはあろうが、一部?それを阻んでいる人（組織）がいる（ある）?言い換えれば、その分野での既得権益や権威、自分達の領分、プライド?に汲々としているということであるようにも思える?!

ということで、同法人の彼ら（スタッフ）には、主たる事業（本分?）は、委託された「青少年の家」を、いかにうまく管理・運営していくのかであろうが、そこに関わる（必要と思われる）様々な人とのネットワーク、そこから生まれる事業・活動のネットワーク、それらを可能な限り発見し、構築していくことであると期待したい!何故なら、彼らには、そのことの自覚と自負（実力はこれから?）が、既に備わっていると思われるからである（かなりのお世辞かもしれないが?）?!

最後に、こうして、私の思い（厳密には期待?）の連鎖は広がっていくのであるが、その思いの広がり、もちろん現在行っている、ズームを活用した「教育協働セミナー」にも大いにあるが、実は、昨今の「オンライン交流（会議・各種イベント・飲み会?等）」のクローズアップによって、新たな可能性も感じ始められるようになった?!これについては、今後、県外との交流だけではなく、県内独自のネットワークも可能であるし（職場等での対応が難しいところもあるようであるが!）、その幾つかの感触も得ている?!今言われるように、ある意味苦肉の策ではあったろうが、これからは、そうしたツール・方途が、まさに通常のこととなっていくことを見越せば（→「ニューノーマル」）、それこそ物理的な阻害条件は、かなりの程度払拭できる?!

とは言え、これは、冷静に言えば、現在ほとんど外へは行かない、行けない私の、それこそ都合の良い思い（解釈?）ではある?!それは、間違いない?!それは認めなければいけない!ただ、私にも、かなりの未練はあるし、意地もある!やれることはやった!そういう自負心もある?!だが、今回は、決してそういうことではない?!純粋に、私の言ってきたこと、やってきたことを、真摯に受け止め、改めて一緒にやっというふうな心意気が見えるのである?!社会的な立場や影響力からすれば（それは、ほとんど形式上であった?）、まったくそれを卒業した（失った?）私に対して、声をかけてくれる（頼られている?）?!それが、嬉しいのであり、本物?を感じさせるのもある?!とにかく、標題にもあるように、思いのある人がいる限り、私の「教育協働への道」は続く!そういうことである!